

みんなでいっしょに健康になろう！事業

(岩手県盛岡市)

公益社団法人岩手県栄養士会

事業計画(2)

令和元年度被災者の参画による心の復興事業実施概要

取組全体の目的・概要

地域コミュニティ活動に、地域栄養ケア・アセスメント支援を融合させることより、沿岸生活者の心身のケアをすすめ、高血圧、糖尿病、脂質代謝異常等の生活習慣病の積極的予防と改善、さらには、移転した地域に住み慣れ、自らの行動による地域包括を目的とした健康づくりの自立再生をめざす。

取組の効果・特徴

基盤となるのは、管理栄養士のエンパワメントと組織力

- ① 地域住民との強いネットワークがある(顔なじみ)
- ② 市町村からの信頼があつい(ノウハウを熟知)
- ③ 指導スキルが高い(マネジメント能力高い)
- ④ 「食生活」は住民の関心が高い(食事介入が受け入れやすい)



住み慣れた地域で健康に暮らせる社会

平成30年度の取組の成果評価

1 被災された方への栄養・食生活支援サポート

- ① 沿岸生活者健康応援スクール
対象地区/宮古市、山田町、大槌町、釜石市
集会指導 4地区26回 612人
- ② 内陸移住生活者健康応援スクール
対象地区/盛岡市、奥州市、遠野市
集会指導 3地区 9回 200人
- ③ 訪問活動
5地区 21回 303人
- ④ 健康栄養相談所/もりおか復興支援センター
13回 179人

健康応援スクール
支援は、目標の
123%達成！



宮古市男の料理教室



災害時の食支援シンポジウム

2 “おひとりお達人”料理レシピNo.2の作成

炊飯器を使ったパッククッキング 5000枚

3 災害時の食支援シンポジウム

意見交換シンポジウム 県民参加者94人

令和元年度の事業計画(3年計画の最終年)

1 被災された方への栄養・食生活支援サポート

- ① 沿岸生活者健康応援スクール
対象地区/宮古市、山田町、大槌町、釜石市、野田村
- ② 内陸移住者健康応援スクール
対象地区/盛岡市、奥州市、遠野市
- ③ 被災者個別訪問指導
対象地区/宮古市、釜石市、遠野市、大槌町、山田町、野田村で暮らす被災者(独居生活者中心)
- ④ 健康栄養相談所
もりおか復興支援センター内に相談支援窓口設置 月2回

2 「被災者との意見交換シンポジウム」

震災経験を風化させない!!
栄養・食生活支援が機能するシステムをつくる。

- 1 市町村の保健課題と一致、被災地住民自治会と一体となった事業企画と運営により、住民の意欲的な参加により、計画を上回り盛況であった。
- 2 本事業開催市町村では、本事業を手本として、生活習慣病予防事業の組み立てを行っている。
- 3 沿岸地域は新人(新採用・配置換え)栄養士も多く、OJT後は独事業予算を確保して保健事業を展開する予定になっている。
- 4 地域自治会を中心に“自分の健康は自分で守る”という自立した活動に変化している。

- 1 「沿岸生活者応援スクール」は、対象を拡大して継続実施/ 県北部でも実施します。
- 2 「内陸移住者応援スクール」が定着(被災者の高齢化により“仲間に会えること”に無償の幸せを感じている。)
- 3 「被災者との意見交換シンポジウム」は、自助・共助・公助の役割分担を明確にし、栄養士の機能をシステム化し、住民と共につくる地域防災のしくみを浸透させる。